

Chapter 9

平面上の曲線と 複素数平面

9

B

解答時間
12分解説
333

i は虚数単位とする. 複素数 w と 0 でない複素数 z が

$$w = z + \frac{2}{z}$$

を満たしている.

$z = r(\cos \theta + i \sin \theta)$, $w = x + yi$ (r は正の実数, θ , x , y は実数) とおくと, x , y を r , θ を用いて表すと,

$$x = \boxed{\text{ア}}, \quad y = \boxed{\text{イ}}$$

となる.

, の解答群 (同じものを繰り返し選んでもよい.)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| ① $\left(r + \frac{2}{r}\right) \sin \theta$ | ② $\left(r + \frac{2}{r}\right) \cos \theta$ | ③ $\left(r - \frac{2}{r}\right) \sin \theta$ | ④ $\left(r - \frac{2}{r}\right) \cos \theta$ |
| ⑤ $\left(\frac{2}{r} - r\right) \sin \theta$ | ⑥ $\left(\frac{2}{r} - r\right) \cos \theta$ | ⑦ $\left(r + \frac{1}{r}\right) \sin \theta$ | ⑧ $\left(r + \frac{1}{r}\right) \cos \theta$ |

(1) 複素数平面上で、点 z が原点を中心とする半径 2 の円周上を動くとき、 $r = \boxed{\text{ウ}}$ であり、点 w が描く曲線の概形は $\boxed{\text{エ}}$ となる。

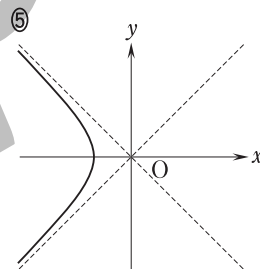
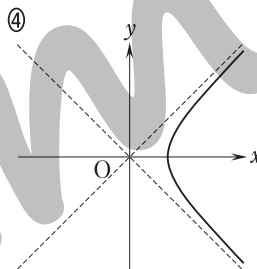
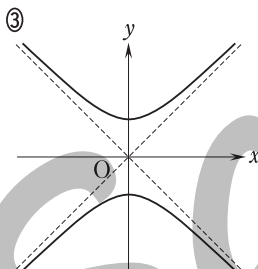
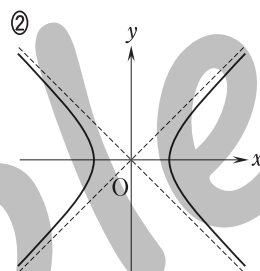
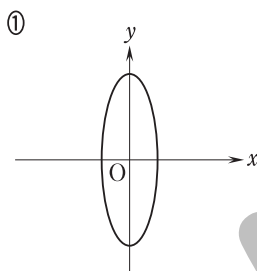
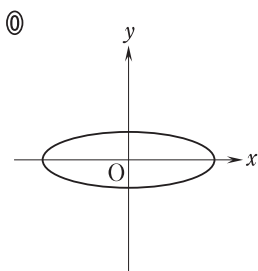
(2) $\theta = -\frac{\pi}{4}$ とする。

このとき、

$$x-y = \sqrt{\boxed{\text{オ}}} r, \quad x+y = \frac{\boxed{\text{カ}} \sqrt{\boxed{\text{キ}}}}{r}$$

となり、さらに、複素数平面上で点 z が $r > 0$ を満たして動くとき、点 w が描く曲線の概形は $\boxed{\text{ク}}$ となる。

$\boxed{\text{エ}}$ 、 $\boxed{\text{ク}}$ については、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。



ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

9

解答記号		正 解	チェック	解答記号		正 解	チェック
ア		①		(2)	$x-y=\sqrt{\text{オ}} r$	$x-y=\sqrt{2} r$	
イ		②			$x+y=\frac{\text{カ}\sqrt{\text{キ}}}{r}$	$x+y=\frac{2\sqrt{2}}{r}$	
(1)	$r=\text{ウ}$	$r=2$			ク	④	
	エ	③					

【解説】

$z=r(\cos \theta+i \sin \theta)$ を $w=z+\frac{2}{z}$ に代入すると,

$$\begin{aligned} w &= r(\cos \theta+i \sin \theta)+\frac{2}{r(\cos \theta+i \sin \theta)} \\ &= r(\cos \theta+i \sin \theta)+\frac{2}{r}(\cos \theta-i \sin \theta) \\ &=\left(r+\frac{2}{r}\right) \cos \theta+i\left(r-\frac{2}{r}\right) \sin \theta . \end{aligned}$$

一方, $w=x+y i$ であり, $x, y, \left(r+\frac{2}{r}\right) \cos \theta, \left(r-\frac{2}{r}\right) \sin \theta$ は実数であるから,

$$x=\left(r+\frac{2}{r}\right) \cos \theta, \quad y=\left(r-\frac{2}{r}\right) \sin \theta . \quad \cdots \textcircled{1}$$

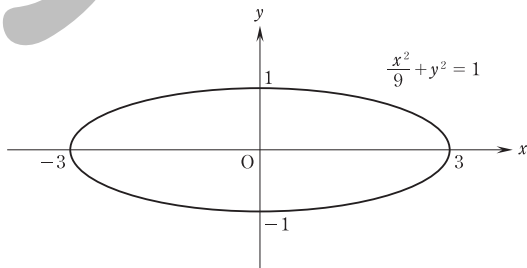
したがって, ア には ① が, イ には ② がそれぞれ当てはまる.

(1) 点 z が原点を中心とする半径 2 の円周上を動くとき, $r=\frac{\text{ウ}}{2}$ で

あり, これを $\textcircled{1}$ に代入すると,

$$x=3 \cos \theta, \quad y=\sin \theta . \quad \cdots \textcircled{2}$$

xy 平面上において, 座標が $\textcircled{2}$ で表される点 (x, y) の軌跡は, 楕円 $\frac{x^2}{9}+y^2=1$ である.



したがって, エ には ③ が当てはまる.

(2) $\theta=-\frac{\pi}{4}$ を $\textcircled{1}$ に代入すると,

$$x=\left(r+\frac{2}{r}\right) \cos \left(-\frac{\pi}{4}\right), \quad y=\left(r-\frac{2}{r}\right) \sin \left(-\frac{\pi}{4}\right)$$

$$\begin{aligned} &\leftarrow \frac{1}{\cos \theta+i \sin \theta} \\ &= \frac{\cos \theta-i \sin \theta}{(\cos \theta+i \sin \theta)(\cos \theta-i \sin \theta)} \\ &= \frac{\cos \theta-i \sin \theta}{\cos ^2 \theta+\sin ^2 \theta} \\ &= \cos \theta-i \sin \theta . \end{aligned}$$

ド・モアブルの定理を用いて求めてもよい.

$$\begin{aligned} &(\cos \theta+i \sin \theta)^{-1} \\ &= \cos (-\theta)+i \sin (-\theta) \\ &= \cos \theta-i \sin \theta . \end{aligned}$$

← $\textcircled{2}$ より,

$$\cos \theta=\frac{x}{3}, \quad \sin \theta=y .$$

これを $\cos ^2 \theta+\sin ^2 \theta=1$ に代入すると,

$$\frac{x^2}{9}+y^2=1 .$$

逆に, これを満たすどの (x, y) に対しても $\textcircled{2}$ を満たす実数 θ は存在する.

すなわち,

$$x = \frac{\sqrt{2}}{2} \left(r + \frac{2}{r} \right), \quad y = -\frac{\sqrt{2}}{2} \left(r - \frac{2}{r} \right) \quad \dots \textcircled{3}$$

であるから,

$$\begin{aligned} x-y &= \frac{\sqrt{2}}{2} \left(r + \frac{2}{r} \right) - \left\{ -\frac{\sqrt{2}}{2} \left(r - \frac{2}{r} \right) \right\} \\ &= \sqrt{\frac{\text{オ}}{2}} r, \end{aligned} \quad \dots \textcircled{4}$$

$$\begin{aligned} x+y &= \frac{\sqrt{2}}{2} \left(r + \frac{2}{r} \right) + \left\{ -\frac{\sqrt{2}}{2} \left(r - \frac{2}{r} \right) \right\} \\ &= \frac{\frac{\text{カ}}{2} \sqrt{\frac{\text{キ}}{2}}}{r}. \end{aligned} \quad \dots \textcircled{5}$$

④より,

$$r = \frac{x-y}{\sqrt{2}} \quad \dots \textcircled{4}'$$

であり, さらに, $r > 0$ であるから,

$$\frac{x-y}{\sqrt{2}} > 0.$$

よって

$$y < x. \quad \dots \textcircled{6}$$

また, ④'を⑤に代入すると,

$$x+y = \frac{2\sqrt{2}}{\frac{x-y}{\sqrt{2}}} \quad \left(= \frac{4}{x-y} \right).$$

両辺に $x-y$ を掛けて

$$(x+y)(x-y) = 4 \quad \text{つまり} \quad x^2 - y^2 = 4.$$

したがって

$$\frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{4} = 1. \quad \dots \textcircled{7}$$

⑥, ⑦より, xy 平面上において, ③で表される点 (x, y) の軌跡は, 双曲線 $\frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{4} = 1$ の $y < x$ を満たす部分である.

← $r > 0$ であることに注意しよう.

⑤と $r > 0$ から
 $x+y > 0$

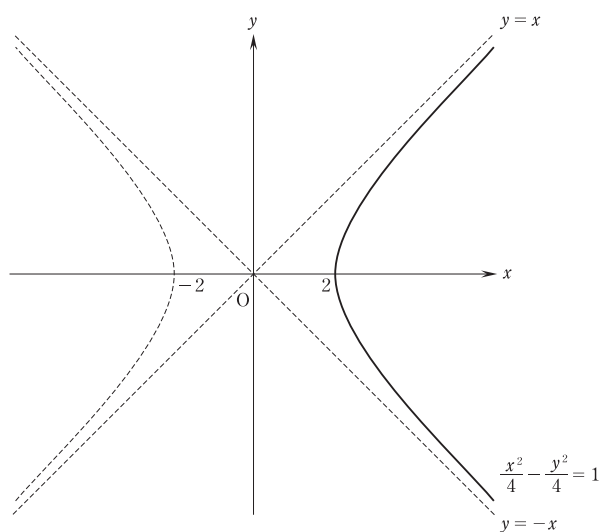
を導いて, ⑥の代わりに用いてもよい.

← ④, ⑤の辺々を掛けると,

$$(x-y)(x+y) = \sqrt{2}r \cdot \frac{2\sqrt{2}}{r}.$$

このようにして, $x^2 - y^2 = 4$ を得ることもできる.

← ⑥, ⑦を満たすどの (x, y) に対しても, ④'により, ④, ⑤を満たす正の数 r は存在する.



したがって、 には が当てはまる。

← 双曲線 $\frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{4} = 1$ の漸近線は、
直線 $y = x$ と直線 $y = -x$ である。